

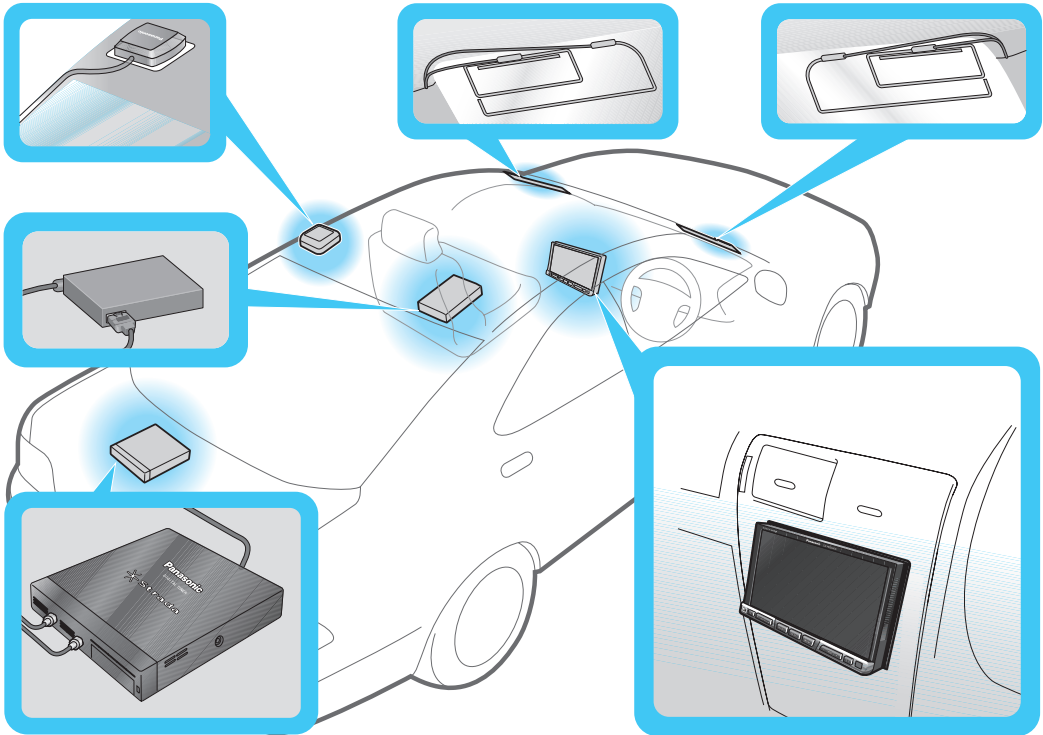
取付説明書

設置と接続



7V 型ワイドVGA モニター 2DIN AV システム
TV/DVD/MD/CD 内蔵 HDD カーナビステーション
車載用地上デジタルチューナーセット

品番 **CN-HDS940TD**



—取付例—

取り付け・配線の前に、別冊の取扱説明書（ナビ編）の「安全上のご注意」（6～11 ページ）を必ずお読みください。

お客様へのお願い

本機の取り付け、配線には専門の技術と経験が必要です。
安全のため、必ずお買い上げの販売店にご依頼ください。

販売店様へのお願い

本機の取り付け後、この取付説明書は必ずお客様へ
ご返却ください。

この説明書は再生紙を
使用しています。



この説明書の印刷には、植物性
大豆油インキを使用しています。

内容物の確認

万一不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

番号	品名	数量
ナビゲーション本体関係		
①	ナビゲーション本体	1
②	座付きねじ (M5 × 6 mm)	4
③	皿ねじ (M5 × 6 mm)	8
④	スペーサー / 両面テープ	各4
GPS アンテナ関係		
⑤	GPS アンテナ (コード 6 m)	1
⑥	防水ゴム (GPS アンテナコード用)	1
⑦	金属シート (車内取付用)	1
⑧	保護シート (車外取付用)	1
⑨	コードクランパー	5
リモコン関係*		
⑩	リモコン	1
⑪	単 3 形乾電池	2
⑫	リモコンホルダー	1
⑬	両面テープ (20 mm × 50 mm)	1
AV 拡張ボックス関係		
⑭	AV 拡張ボックス	1
⑮	L 型金具	2
⑯	座付きタッピングねじ (φ 5 × 16 mm)	4
⑰	座付き六角ねじ (M5 × 10 mm)	4
⑱	マジックテープ	2
ボイスコントロールマイク関係		
⑲	ボイスコントロールマイク (コード 6 m)	1
⑳	コードクランパー	5
コード / ケーブル関係		
㉑	電源コード	1
㉒	車速信号中継コード (桃色 : 1.5 m)	1
㉓	車両インターフェースコード	1
㉔	AV 拡張ボックス接続ケーブル (3 m)	1
㉕	圧着式コネクタ	4

番号	品名	数量
TV・FM 多重アンテナ関係		
㉖	TV・FM 多重アンテナ左右	各1
㉗	TV・FM 多重アンテナコード左右 (左 : 4 m、右 : 5.5 m)	各1
㉘	地上デジタルアンテナコード左右 (左 : 4 m、右 : 5.5 m)	各1
㉙	アーステープ	2
㉚	コードクランパー	10
地上デジタルチューナー関係		
㉛	地上デジタルチューナー	1
㉜	ベース金具	2
㉝	L 型金具	2
㉞	粘着テープ (35 mm × 80 mm)	2
㉟	座付きタッピングねじ (φ 6 × 20 mm)	4
㊱	座付き六角ナット (M5)	4
㊲	マジックテープ	2
㊳	地上デジタルアンテナ入力ケーブル (3 m)	1
㊴	地上デジタルチューナー接続ケーブル (3 m)	1
㊵	座付きねじ (M5 × 6 mm)	2

*リモコンの取り付けかたと電池の入れかたは、取扱説明書 (ナビ編) をご覧ください。

主な添付品

品名	数量
基本操作ガイド	1
取扱説明書 ナビゲーション操作編	1
取扱説明書 地上デジタルチューナー操作編	1
取付説明書	1
はじめて使うときの準備	1
取付ゲージ	1
仮保証書 兼ユーザー登録ハガキ	1
B-CAS カード (ユーザー登録ハガキ付)	1

その他の付属品

品名	数量
クリーニングクロス (液晶ディスプレイ用)	1
クリーナー (TV・FM 多重アンテナ用)	1

取り付け・配線の前に

- 取り付ける前に内容物をご確認ください。
- 取り付けには、一般工具、カッターナイフ、布きれなどが必要です。
- ボルト、ナット、ねじの取り付けは寸法があった工具を使用し、まっすぐ確実に行ってください。
- 別売の機器でシステムアップする場合には、必ず指定品をお使いください。(※裏面) また、各機器の説明書をよくお読みになり、正しく使用してください。
- 作業終了後、確実に取り付け・配線されていること、および車の電装品が正しく動くことを必ずご確認ください。(※裏面)

作業の順序

- 1 バッテリーの ⊖ 端子をはずす。
 - 2 配線する。
 - 他の機器と接続する場合は、各機器の説明書も併せてよくお読みのうえ、配線してください。
 - ショート事故防止のため、電源コードのコネクターは、必ず全ての配線をすませてから接続してください。
 - 3 取り付ける。
 - 4 バッテリーの ⊖ 端子を、もとに戻す。
- 配線・取り付けの作業時には、安全のため必ず手袋を使用してください。

松下電器産業株式会社

パナソニック オートモーティブシステムズ社

〒224-8539 横浜市都筑区佐江戸町600番地

お客様ご相談センター 電話 ☎ 0120-50-8729

一般電話 045-929-1265 (携帯電話・PHSなど)

FAX 045-938-1573

受付 9:00 ~ 17:00 (土・日・祝日・当社休日を除く)

*一般電話、および FAX をご利用の際の通信料は、お客様のご負担となります。

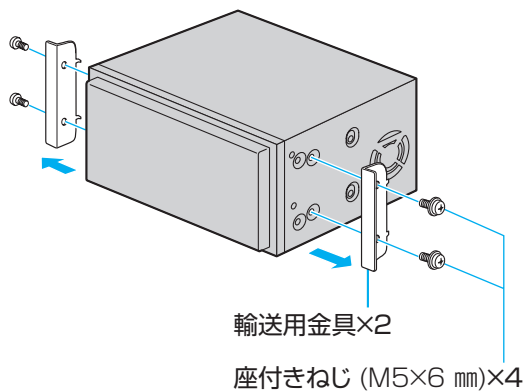
© 2006 Matsushita Electric Industrial Co., Ltd. All Rights Reserved.

YEFM294209 F0606-0

ナビゲーション本体の取り付けかた

取り付ける前に ● 輸送用金具をはずしてください。

① ナビゲーション本体



取りはずした座付きねじ (4本) は、取り付けに使用
する場合があります。

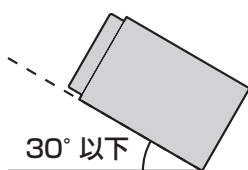
■ 取り付け部の寸法・角度の確認

- センターコンソールの形状や寸法によって、取り付けられない場合やシフトレバーなどに接触する場合があります。詳しくは、販売店にご相談ください。
- オーディオスペースが2DINサイズでない場合は、販売店にご相談ください。

2DIN サイズ (横 180 mm×縦 100 mm)

- 水平に対して、30°以下の角度で取り付けてください。

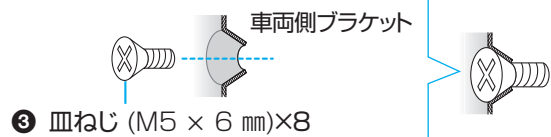
取付角度が大きい場合、
ジャイロが正しく動作
せず、自車位置が正しく
表示されません。



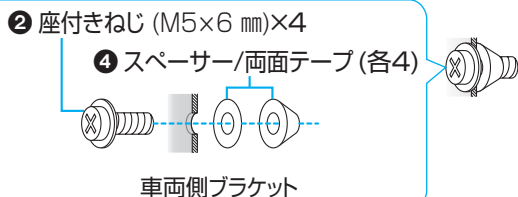
お願い

- アマチュア無線機などのアンテナの近くに取り付けしないでください。画像が乱れる原因になります。
- エアバッグや盗難防止システムなどの保安装置を装備した車両に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。不用意にバッテリーをはずすと、保安装置が誤作動したり、動作しなくなる場合があります。

付属のねじは、取り付け金具 (ブラケット) の
穴形状に合わせて選んでください。



ブラケットが不安定な場合には、スペーサーで
取り付けを補強し、固定してください。

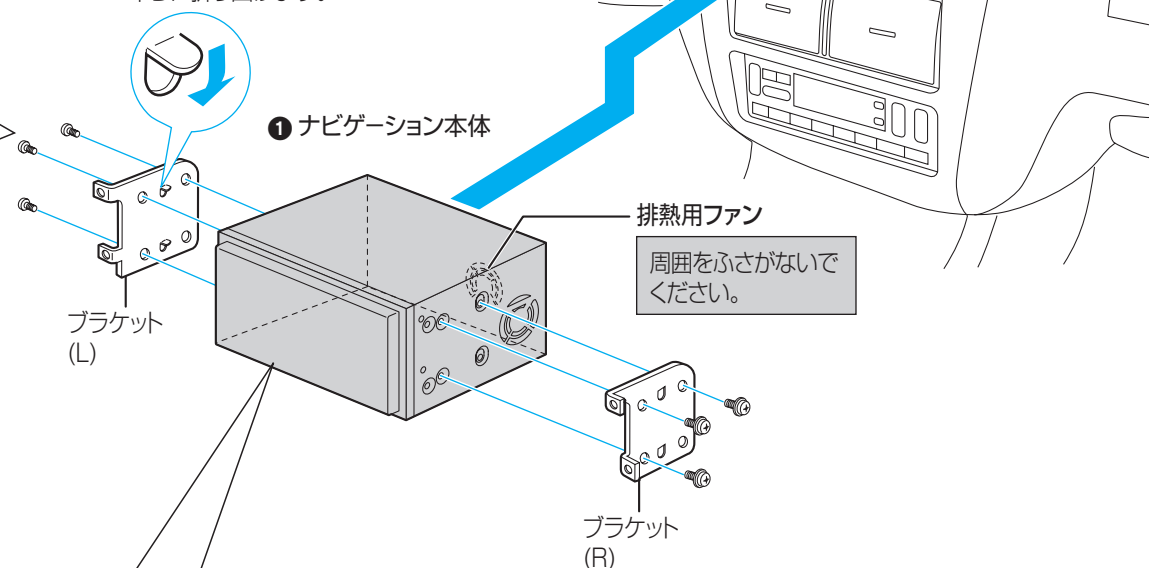


お願い

- 故障の原因になりますので、長さの異なるねじを使用しないでください。
- センターコンソールに無理に押し込まないでください。配線 (コネクターやコード) に負担がかかり、接続不良の原因になります。

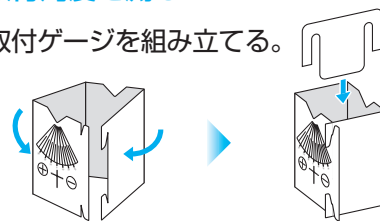
取付例

ツメがある場合は、
ラジオペンチなどで
平らに折り曲げます。



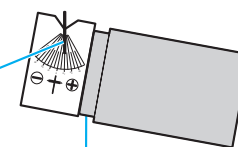
■ 取付角度を測る

- ① 取付ゲージを組み立てる。



- ② 車体が水平になる場所で、取付ゲージの ⊕ 側をナビゲーション本体の前面に図のようにあて、本体の取付角度を測る。

この部分が示す
角度を見る。



モニターの傾きを変えずに (全閉状態で)
測ってください。

- ③ 取付角度を設定する。(裏面)

お願い

- 取付ゲージを折ったり曲げたりしないでください。正確な角度が測れなくなります。
- ナビゲーション本体を取りはずし、再度取り付けの際にも取付角度設定は必要となります。取付ゲージは大切に保管してください。

使用する取り付け金具 (ブラケット) は、車両メーカー
や車種ごとに形状や固定方法が異なります。
詳しくは、販売店にご相談ください。

● トヨタ車 (DIN サイズ採用車)

純正カーオーディオを固定していたブラケットをご使用ください。

● 日産・本田・マツダ車 (DIN サイズ採用車)

別売の車両メーカー別標準取り付けキット、または車種別の取り付けキットをご使用ください。

● 上記メーカー以外の車

別売の専用取り付けキット、または汎用取り付けキットをご使用ください。

お知らせ

- 年式、車種、グレードにより、専用キット (別売) が必要な場合がありますので、販売店にご相談ください。
- 車両側との配線が容易にできる専用の中継コード (別売) がありますので、販売店にご相談ください。

AV 拡張ボックスの取り付けかた

取付位置の都合などにより、付属の AV 拡張ボックス接続ケーブル (3 m) で本体と接続できない場合は、別売のケーブル [CA-LJC600D(6 m)] をご使用ください。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

専用の金具で取り付ける (推奨)

取り付ける前に ● 設置面の汚れ (ごみ、油など) をきれいに拭き取り、湿気を乾かしてください。

1 L 型金具を取り付ける。

15 L 型金具
14 AV 拡張ボックス
17 座付き六角ねじ × 4 (M5 × 10 mm)

2 助手席の下などの平らな床に取り付ける。

① AV 拡張ボックスを床上に置き、設置する位置を決める。
② L 型金具の穴に合わせて、車体に φ4 mm 内の穴を開ける (4 力所)。
③ 座付きタッピンねじで、しっかり固定する。

カーペットをめくる。
穴開け加工部と座付きタッピンねじに防錆剤を塗ってください。

16 座付きタッピンねじ × 4 (φ 5 × 16 mm)

カーペットに切り込みを入れる。

お願い

- 以下のところには、取り付けないでください。故障の原因になります。
- ・水のかかるところ
- ・足で踏まれるところ
- ・ほこりの多いところ
- ・直射日光のあたるところ
- ・ヒーターのダクトや発熱する物の近く
- ・カーペットの下など熱がこもるところ

マジックテープで取り付ける場合は

カーペットなどに取り付ける。

14 AV 拡張ボックス
底面の銘板を隠さないように貼ってください。
18 マジックテープ × 2
裏紙をはがす。

地上デジタルチューナーの取り付けかた

取り付ける前に ● 設置面の汚れ (ごみ、油など) をきれいに拭き取り、湿気を乾かしてください。

専用の金具で取り付ける (推奨)

1 L 型金具を取り付ける。

40 座付きねじ (M5 × 6 mm)
33 L 型金具
31 地上デジタルチューナー
40 座付きねじ (M5 × 6 mm)
33 L 型金具

3 ベース金具に取り付ける。

36 座付き六角ナット (M5) × 4
カーペットに切り込みを入れる。

2 ベース金具を床に取り付ける。

カーペットをめくる。
35 座付きタッピンねじ × 4 (φ 6 × 20 mm)
32 ベース金具 × 2
34 粘着テープ × 2 (35 mm × 80 mm)
穴を開ける。(φ 4.8 mm)
穴開け加工部と座付きタッピンねじに防錆剤を塗ってください。

お願い

- 以下のところには、取り付けないでください。故障の原因になります。
- ・水のかかるところ
- ・足で踏まれるところ
- ・ほこりの多いところ
- ・直射日光のあたるところ
- ・ヒーターのダクトや発熱する物の近く
- ・カーペットの下など熱がこもるところ
- ・B-CAS カードの出し入れの妨げになるところ

マジックテープで取り付ける場合は

カーペットなどに取り付ける。

31 地上デジタルチューナー
底面の銘板を隠さないように貼ってください。
37 マジックテープ × 2
裏紙をはがす。

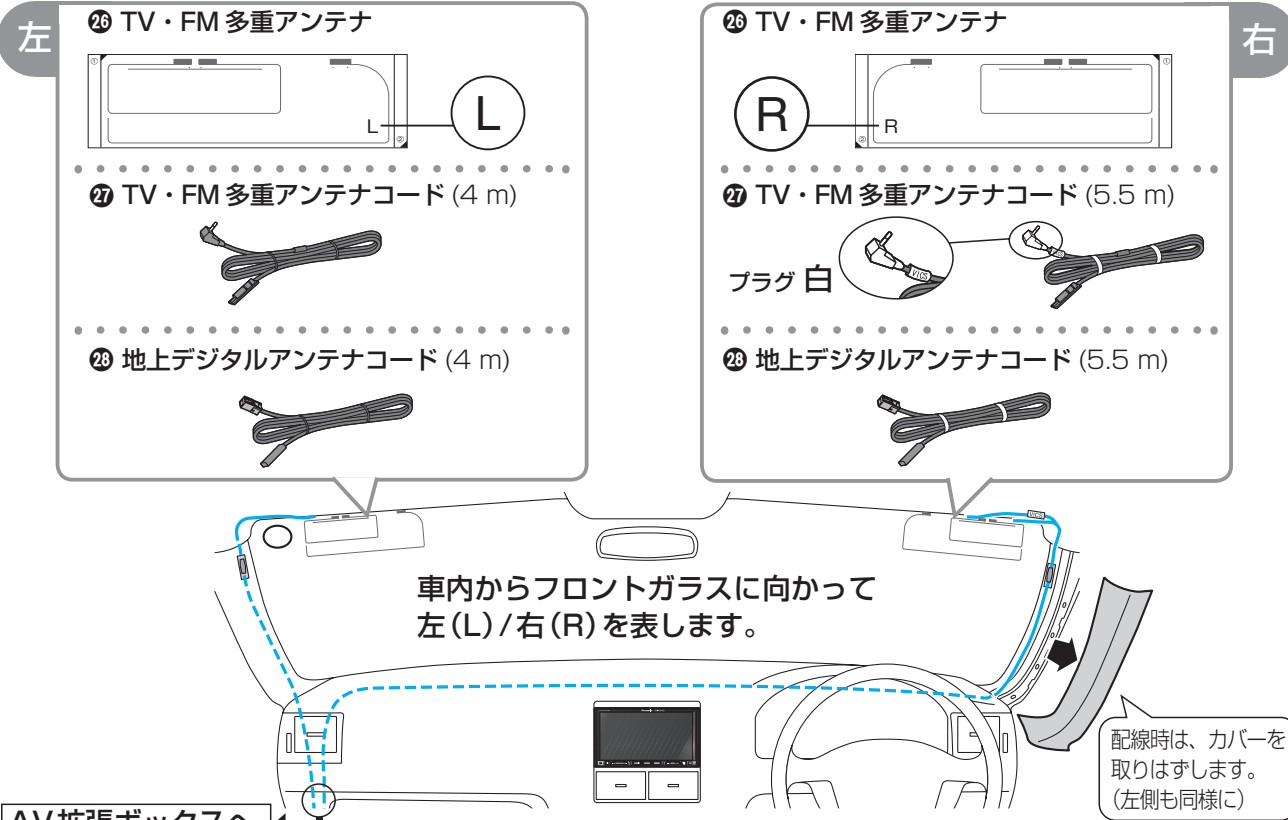
TV・FM多重アンテナの貼り付けかた

貼り付ける前に

- アンテナは、運転者の視界を妨げない位置に、はがれないようしっかり貼り付けてください。
- 車種によって、性能が発揮できない場合があります。熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不透過ガラスなど電波を通さないガラスを使用した車種の場合、受信感度が極端に低下します。お買い上げの販売店にご相談ください。
- 仮止めして、アンテナを貼り付ける位置（左右）をご確認ください。（貼りなおせません）
- 妨害を防ぐため、他のアンテナから、10 cm 以上離して貼り付けてください。
- ピラーにエアバッグが装備されている場合、お買い上げの販売店にご相談ください。

必ず車室内（フロントガラスの上側）に貼り付けてください。

- サイドガラスやリヤガラスには貼らないでください。十分な受信状態が得られません。
- 左ハンドル車の場合も、図のとおり貼り付けてください。（左右逆に貼らないでください）
- アンテナを折り曲げないように、お取り扱いにご注意ください。

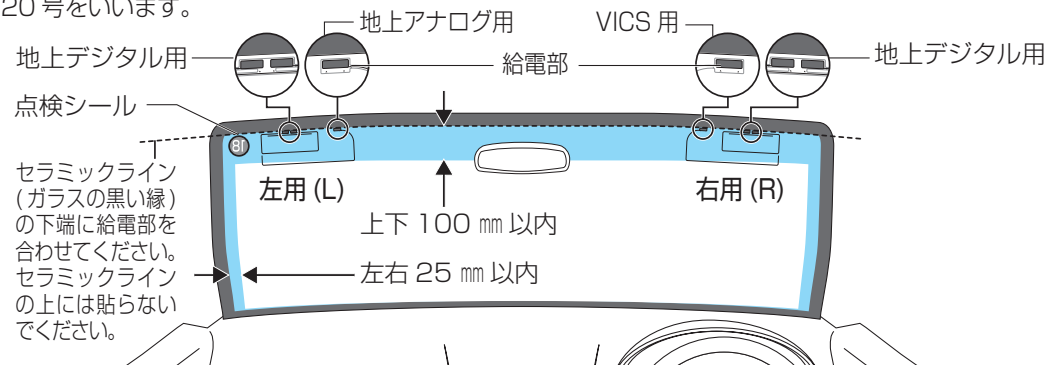


AV 拡張ボックスへ

■ 取付許容範囲について

国土交通省の定める保安基準*に適合させるため、アンテナの給電部は、取付許容範囲内（**■**部）に貼り付けてください。

*保安基準とは、道路運送車両の保安基準第 29 条第 4 項第 7 号に対する、平成 11 年 12 月 27 日付の運輸省（当時）告示第 820 号をいいます。



付属のクリーナー（TV・FM 多重アンテナ用）で、設置面（ガラス面、ピラー）の汚れ（ごみ、油）などをきれいに拭き取ってください。

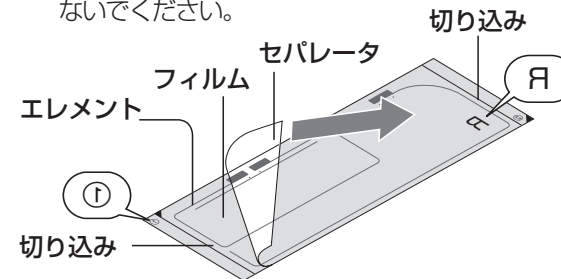
右用のアンテナの貼り付けかたを例に説明しています。左側のアンテナも、右側と同様に貼り付けてください。

1 フロントガラスにアンテナを貼り付ける

- フィルムを強く曲げる、急にはがす、引っ張るなどしないでください。断線の原因になります。

① セパレータをはがす。

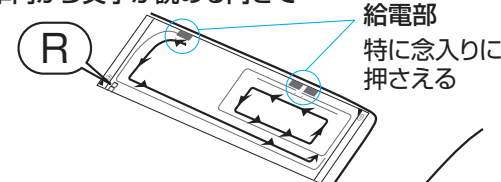
- 急にはがさないでください。
- 極端にゆっくりはがさないでください。
- フィルム・エレメントの糊面に触れないでください。



エレメントがセパレータ側に残る場合

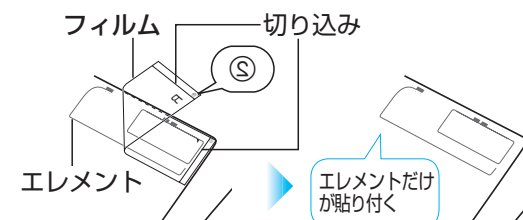
- ① セパレータをもとに戻す。
- ② 車内から文字が読める側を上にして、ドライバーの柄など先が丸く硬いものでエレメントをこする。
 - 先のとがったものでこすらないでください。
 - 同じ部分を何度も強くこすらないでください。
- ③ 再度セパレータをはがす。

② エレメントをしっかりガラス面に密着させる。車内から文字が読める向きで



③ フィルムをはがす。

- フィルムの②部を持って、角からゆっくりと、エレメントがガラス面に貼り付いていることを確認しながらはがしてください。



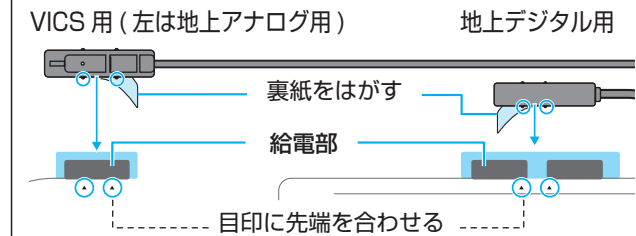
- エレメントがフィルム側に残る場合は、フィルムをもとに戻してエレメント上をこすり、再度はがしてください。

2 アンテナコードを取り付ける

- コードの左右を必ずご確認ください。
- 端子の形状を確認してください。

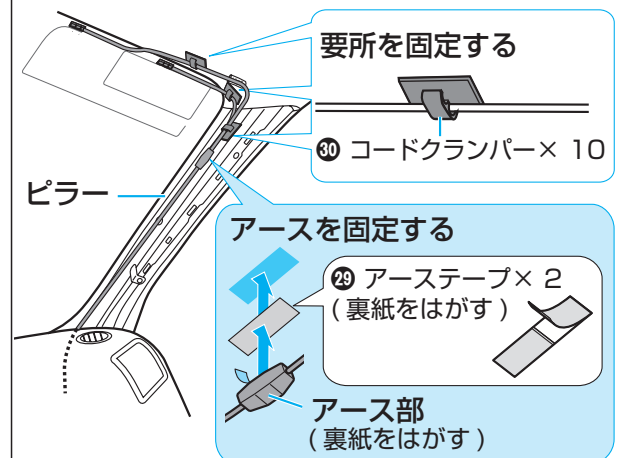
① 車の内張り（ピラーのカバー）を取りはずす。

② アンテナコードの端子を給電部に貼る。



③ アース部をピラーの金属部（塗装面）に貼り付けて、コードを引き回す。

- 金属部の塗装をヤスリなどではがす必要はありません。
- 必ず、アース部の下にアーステープを貼り付けてください。受信感度が低下する原因になります。



- 配線後、カバーをもとに戻してください。

④ アンテナコードをナビゲーション本体に接続する。（裏面）

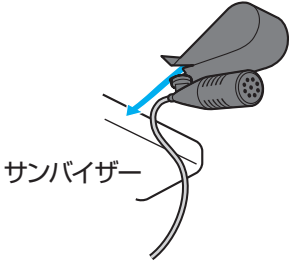
- ナビゲーション本体や他のコード類からできるだけ離してください。また、束ねたり重ねたり交差させたりしないでください。テレビ、FM ラジオの音声に雑音が入る原因になります。

ボイスコントロールマイクの取り付けかた

- 認識率がよくなるように、サンバイザーの中央または右端（左ハンドル車は左端）に取り付けてください。
- 発声する人から 20 cm ~ 40 cm 離してください。
- マイクからの距離が近すぎたり、遠すぎたりすると誤認識の原因になります。

1 車のサンバイザーにマイクを取り付ける。

- 無理に取り付けしないでください。クリップを破損する場合があります。



19 ボイスコントロールマイク

サンバイザー

お願い

- 必ず、付属のマイクを使用してください。
- ノイズを避けるため、他のコードとは離してください。

2 コードを引き回す。



コードクランパーで要所を固定してください。

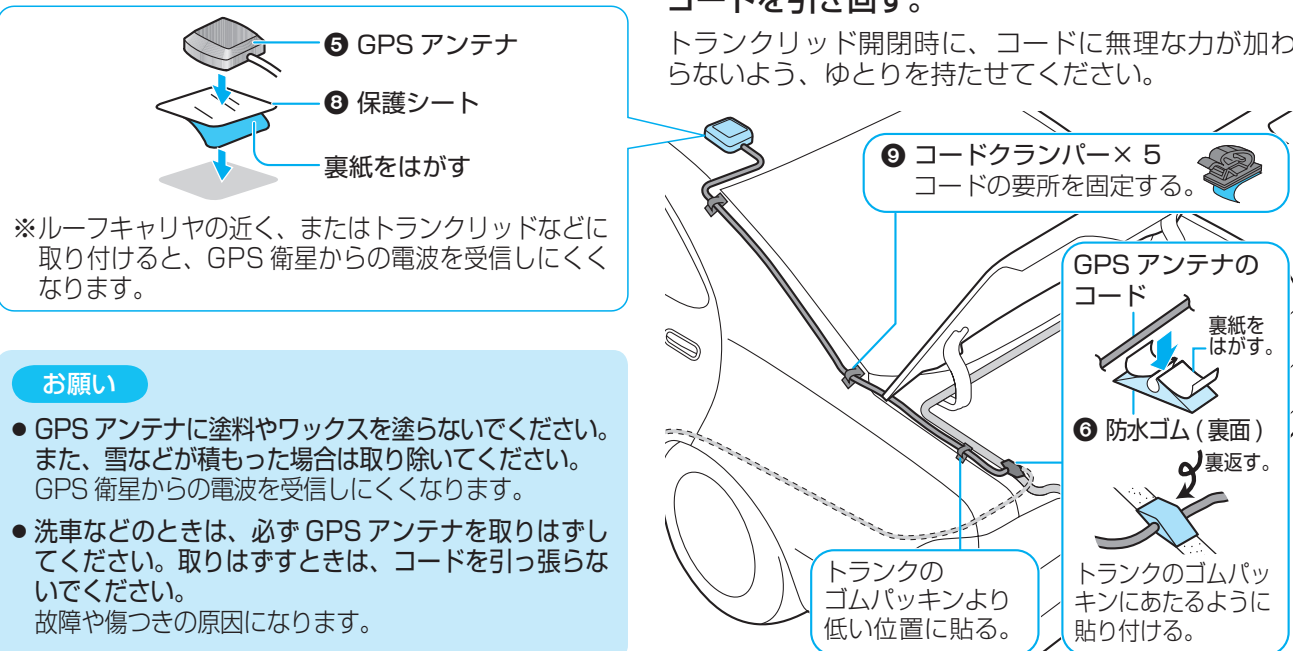
20 コードクランパー

GPS アンテナの取り付けかた

- 取り付ける前に**
- 設置面の汚れ（ごみ、油など）をきれいに拭き取り、湿気を乾かしてください。
 - 気温が低いときは、設置面をドライヤーなどで温めてください。
 - 妨害を防ぐため、他のアンテナから、10 cm 以上離して取り付けてください。

車外に取り付ける（推奨）

ルーフの平らな面に取り付けてください。



5 GPS アンテナ

6 保護シート

裏紙をはがす

9 コードクランパー×5
コードの要所を固定する。

GPS アンテナのコード

裏紙をはがす

6 防水ゴム（裏面）

裏返す

トランクのゴムパッキンより低い位置に貼る。

トランクのゴムパッキンにあたるように貼り付ける。

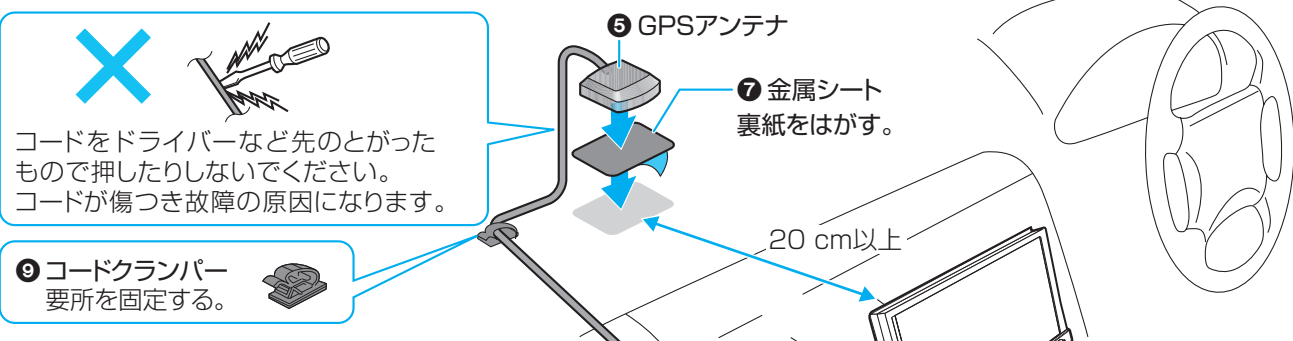
※ルーフキャリアの近く、またはトランクリッドなどに取付けると、GPS 衛星からの電波を受信しにくくなります。

お願い

- GPS アンテナに塗料やワックスを塗らないでください。また、雪などが積もった場合は取り除いてください。GPS 衛星からの電波を受信しにくくなります。
- 洗車などのときは、必ず GPS アンテナを取りはずしてください。取りはずすときは、コードを引っ張らないでください。故障や傷つきの原因になります。

ダッシュボードやリヤトレイの上に取り付ける場合は

中央部のガラス付近に水平に取り付けてください。



5 GPS アンテナ

7 金属シート

裏紙をはがす。

9 コードクランパー

要所を固定する。

20 cm以上

コードをドライバーなど先のとがったもので押しつけないでください。コードが傷つき故障の原因になります。

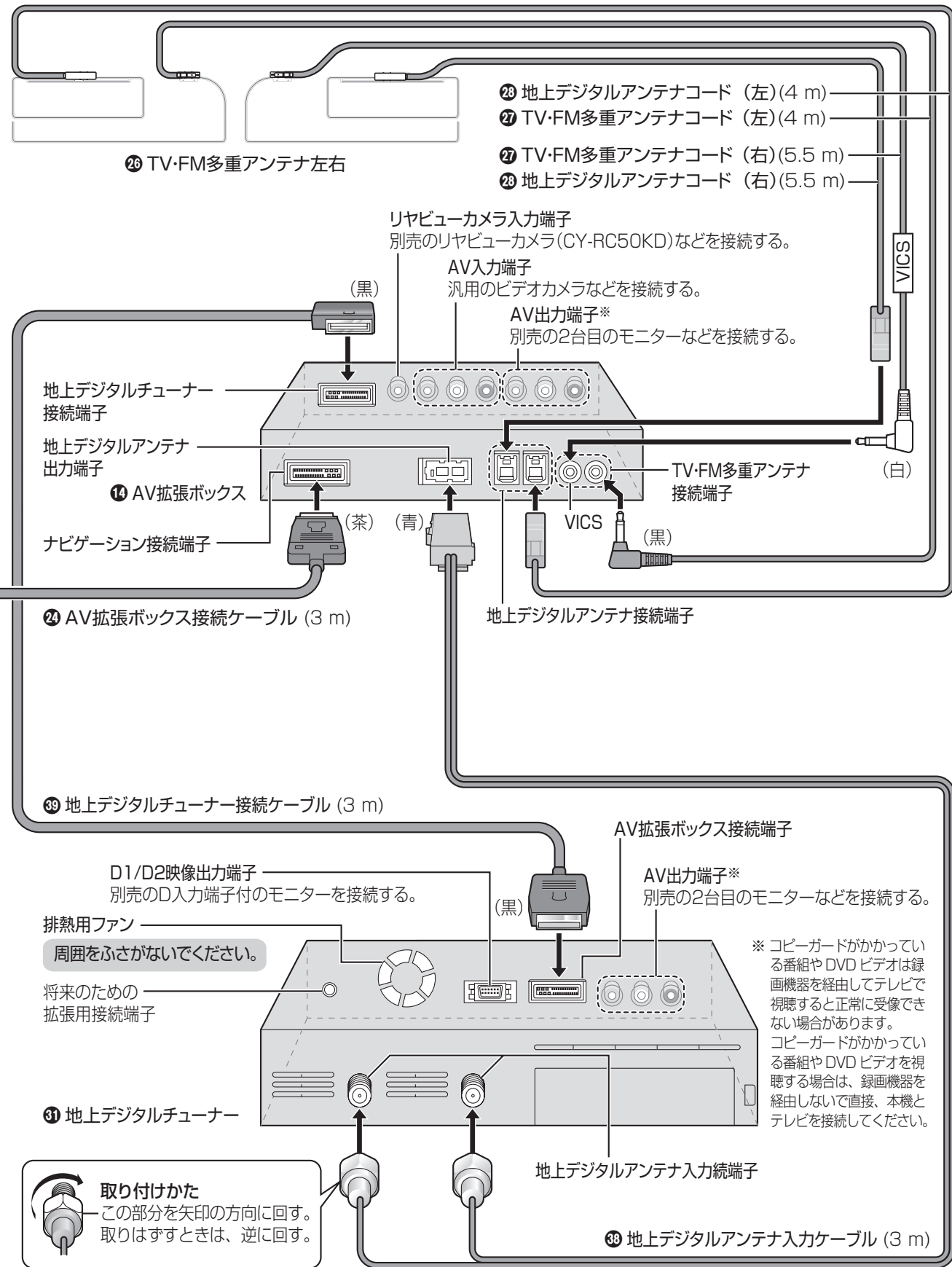
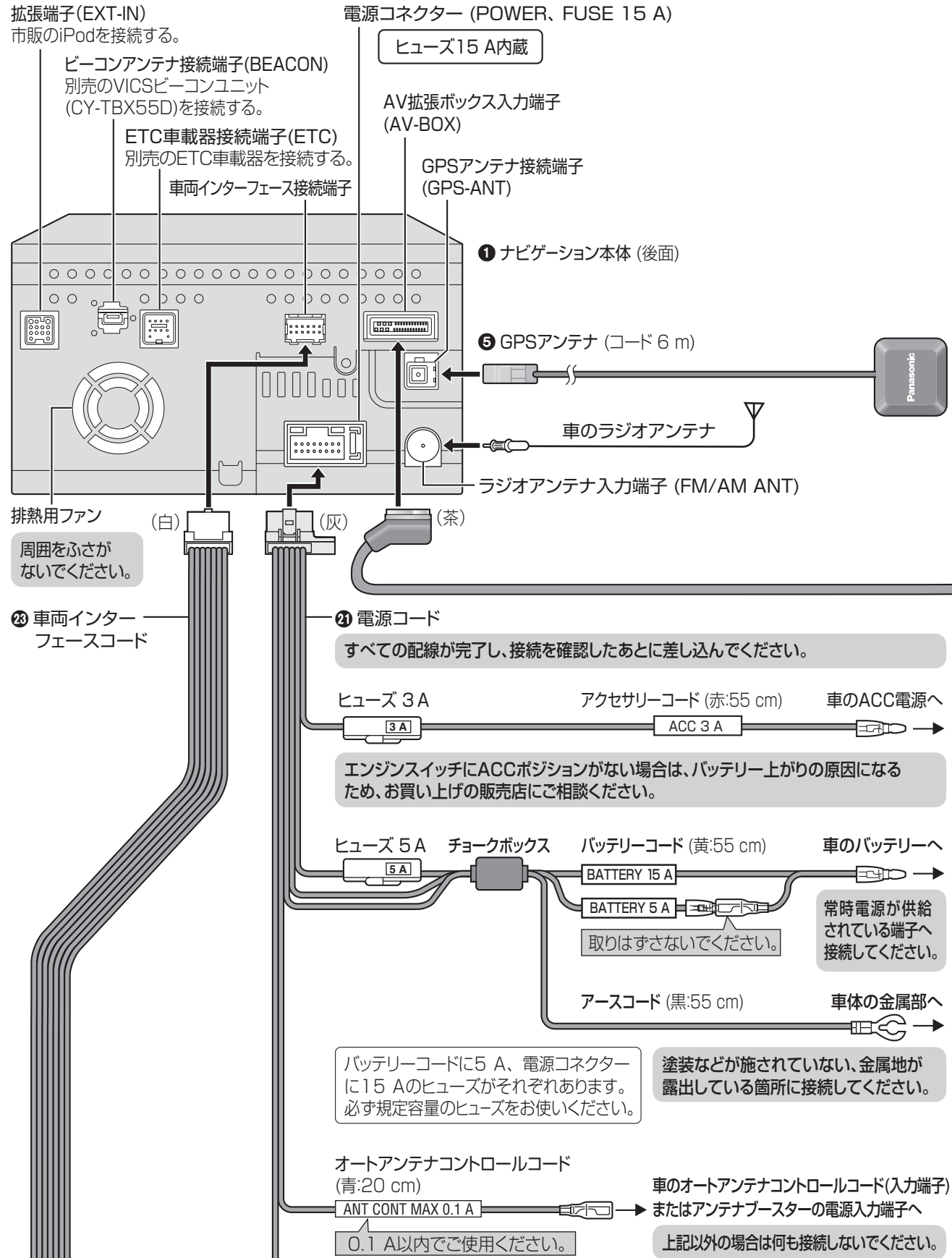
お知らせ

- 車内に GPS アンテナを取り付けると、受信しにくくなり、電波状態によっては自車位置を誤って表示することがあります。受信状態が良くない場合は、車外に取り付けてください。
- 車体の形状や電波を通さない一部のガラスにより、電波がさえぎられることがあります。お買い上げの販売店、またはお近くの「サービス相談窓口」(☎ 取扱説明書「ナビ編」)にご相談ください。

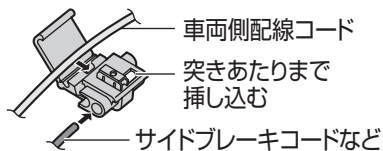
お願い

- 金属シートは、必ず、付属の金属シートを使用してください。
- 折り曲げたり、切って小さくしないでください。
- あまったアンテナコードをまとめるときは、ナビゲーション本体から 30 cm 以上離してください。
- GPS アンテナに時計や磁気カードを近づけないでください。時計や磁気カードが故障したり、使えなくなる場合があります。

配線のしかた



■ 圧着式コネクターの取り付けかた

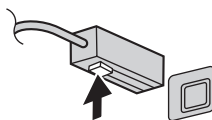


■ ロック付きコードの取りはずしかた

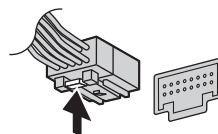
矢印の方向に押しながら、取りはずしてください。

- 無理に引っ張ると、破損することがあります。
- 必ず、ロックが解除されていることを確認してから取りはずしてください。

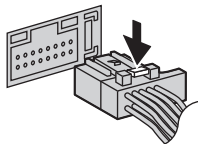
⑤ GPSアンテナのコード



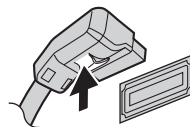
⑫ 車両インターフェースコード



⑭ 電源コード

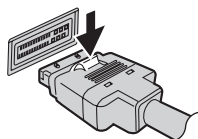


⑮ AV拡張ボックス 接続ケーブル (ナビゲーション本体側)

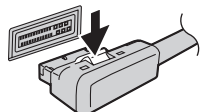


⑳ AV拡張ボックス 接続ケーブル (AV拡張ボックス側)

㉑ 地上デジタルチューナー 接続ケーブル (地上デジタルチューナー側)



㉒ 地上デジタルチューナー 接続ケーブル (AV拡張ボックス側)



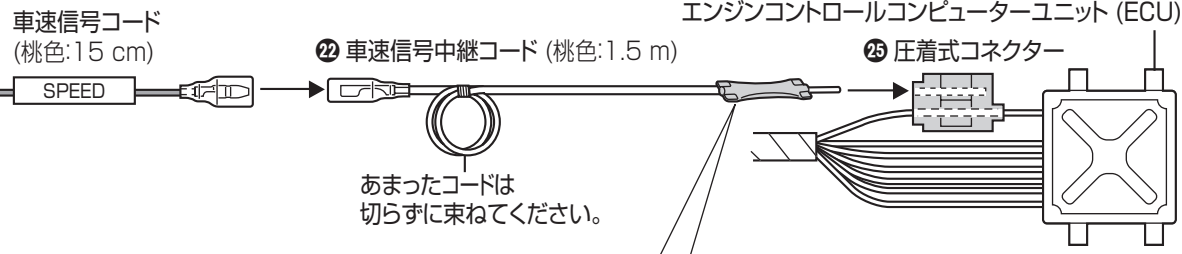
お願い

- コネクターは確実に差し込んでください。
- コードは高熱部や車体の金属部との接触を避け、コードクランパーや市販のテープなどで固定してください。
- ETC 車載器接続端子に、モバイルコミュニケーションユニットやマルチメディアハブなどは接続しないでください。接続しても動作しません。
- ヒューズが切れた場合は、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービス相談窓口」にヒューズの交換を依頼してください。
- 圧着式コネクターは、指定の箇所以外に使用しないでください。

- ノイズ防止のため、TV・FM 多重アンテナのコード、車のラジオアンテナのコード、GPS アンテナのコード、電源コードはナビゲーション本体や他のコード類からできるだけ離してください。また、束ねたり重ねたり交差させたりしないでください。テレビ、FM ラジオの音声に雑音が入る原因になります。
- キャップ付きのコードは、使用しないときはキャップをはずさないでください。
- AV 拡張ボックスや地上デジタルチューナーをシートなどに取り付ける場合は、シートの移動・調整をしてもコードやコネクターに負荷が加わらないように配線してください。誤作動・故障の原因になります。

車速信号コードを接続する

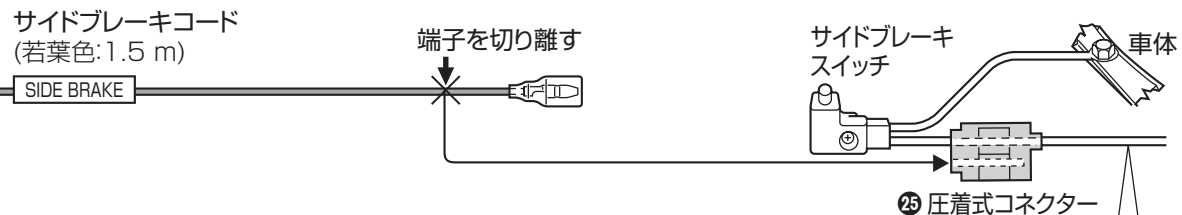
車速信号取り出し箇所は、車種・年式・エンジン型式によって異なりますので、お買い上げの販売店にご相談ください。必ず、付属の車速信号中継コードを使用してください。



この部分は回路保護部品です。切り離したりせず、必ずこの状態のまま車速信号取り出し箇所の方向に接続してください。

サイドブレーキコードを接続する

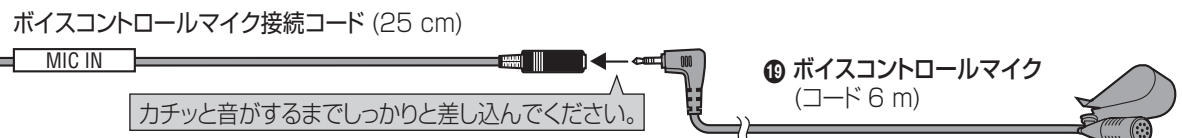
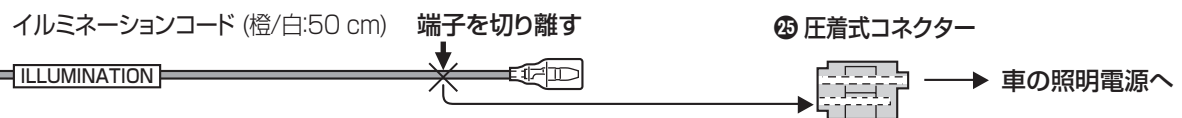
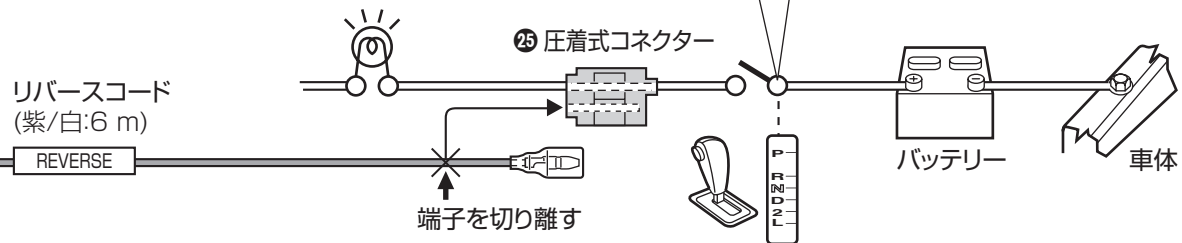
サイドブレーキコードは必ず接続してください。正しく接続し、サイドブレーキを引いていない場合には、操作が制限されます。



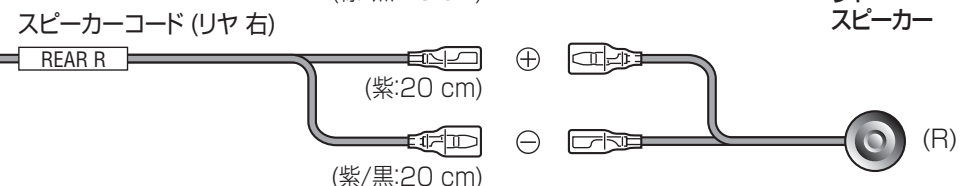
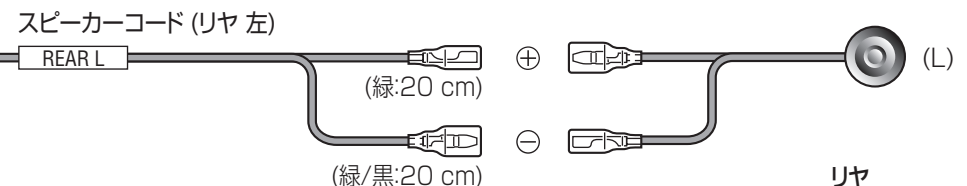
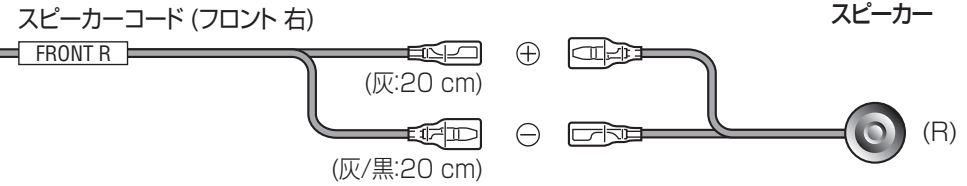
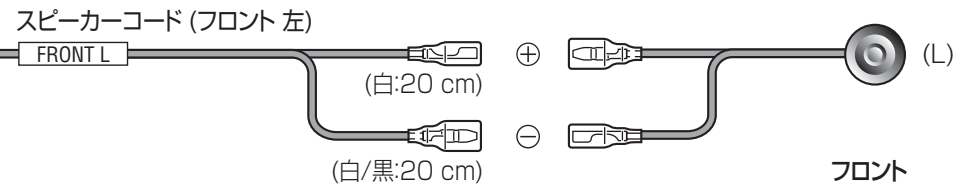
サイドブレーキが解除のときに車体にアースされていない方へ接続してください。

リバースコードを接続する

車のシフトレバーをリバース(R)に入れたときに点灯するバックランプ（後退灯、透明のレンズが付いたランプ）のプラス線に接続してください。

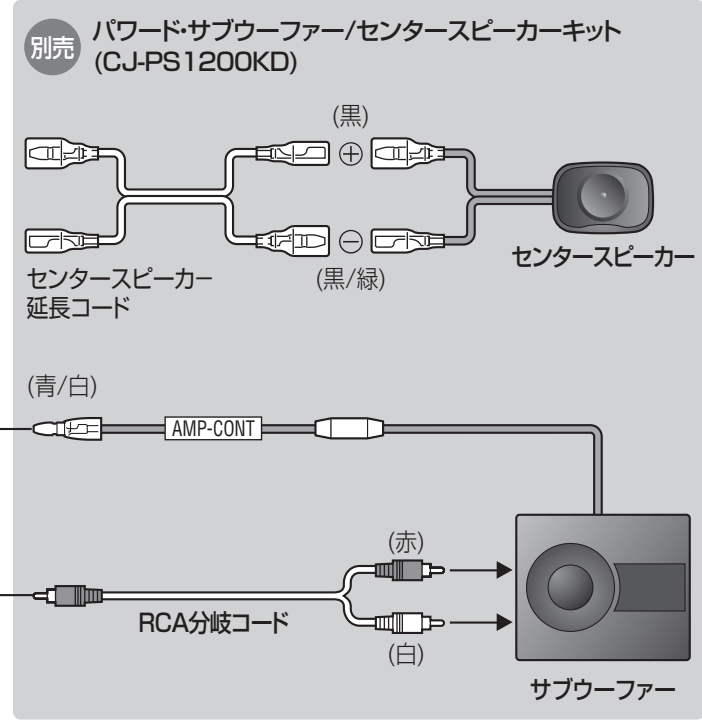
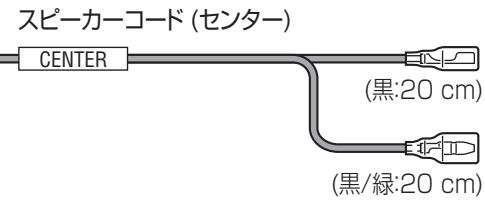


VOICE OUT 将来のための拡張用接続端子



使用しないスピーカーのコードは、先端をビニールテープなどで絶縁してください。

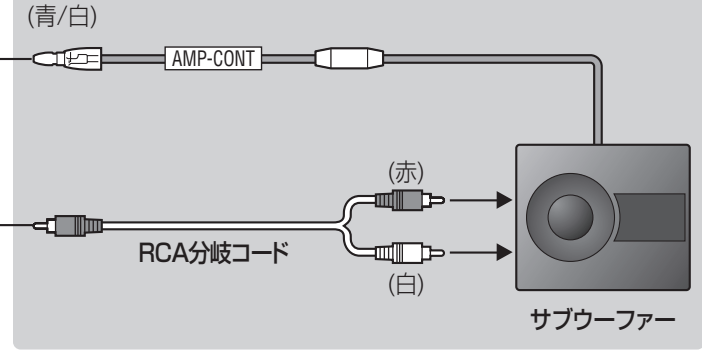
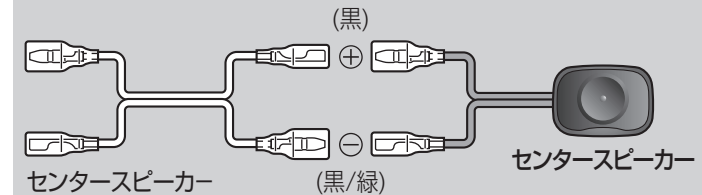
接続したスピーカーに合わせて「スピーカー設定」をしてください。
(※取扱説明書「ナビ編」)



外部アンプコントロールコード (青/白:20 cm)
AMP CONT MAX 0.1 A
0.1 A以内でご使用ください。

サブウーファー接続コード (25 cm)
S.W OUT (黒)

別売 パワード・サブウーファー/センタースピーカーキット (CJ-PS1200KD)



接続する各機器の説明書も、よくお読みください。

別売 VICS ビーコンユニット

品番：CY-TBX55D

電波 / 光ビーコンから VICS 情報を受信できます。

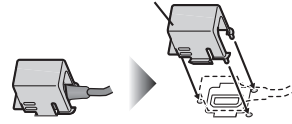


別売 VICSビーコンユニット (CY-TBX55D)

お知らせ

- 電波不透過ガラス装着車両では、電波ビーコンが受信できないことがあります。販売店にご相談ください。
- 赤外線反射ガラス装着車両では、光ビーコンが受信できないことがあります。販売店にご相談ください。

ビーコンプラグ保護カバー (VICSビーコンユニットに付属)



接続後、必ずコネクターヘカバーをかぶせてください。
(はずれ防止・コネクター保護のため)

市販 iPod®

iPod を接続し音楽を楽しめます。(取扱説明書「ナビ編」:iPod を再生する)

- iPod のほかに iPod® 用インターフェースケーブル (CA-DC300D) が別途必要です。
- iPod 本体では操作できなくなります。
- 本機と接続中は、iPod は充電されます。



市販 iPod®

別売 iPod®用インターフェースケーブル (CA-DC300D)

お願い

- オーディオが iPod のときに、iPod の取り付け、取りはずしをしないでください。雑音が発生し、スピーカーを破損する原因になる場合があります。
- 運転中に iPod が動かないようにホルダーなどでしっかりと固定してください。
- iPod を車内の温度が高くなる場所に長時間放置しないでください。
- ACC を OFF にしたあとは、必ず iPod を iPod® 用インターフェースケーブルから外してください。iPod の電源が切れず、iPod の電池を消耗することがあります。
- 接続する iPod の説明書も、併せてご覧ください。

お知らせ

- 本機と接続するときは、iPod のリモコンやヘッドフォンなど、iPod のアクセサリを接続しないでください。正しく動作しない場合があります。

別売 ETC 車載器

品番：CY-ET906D (例)

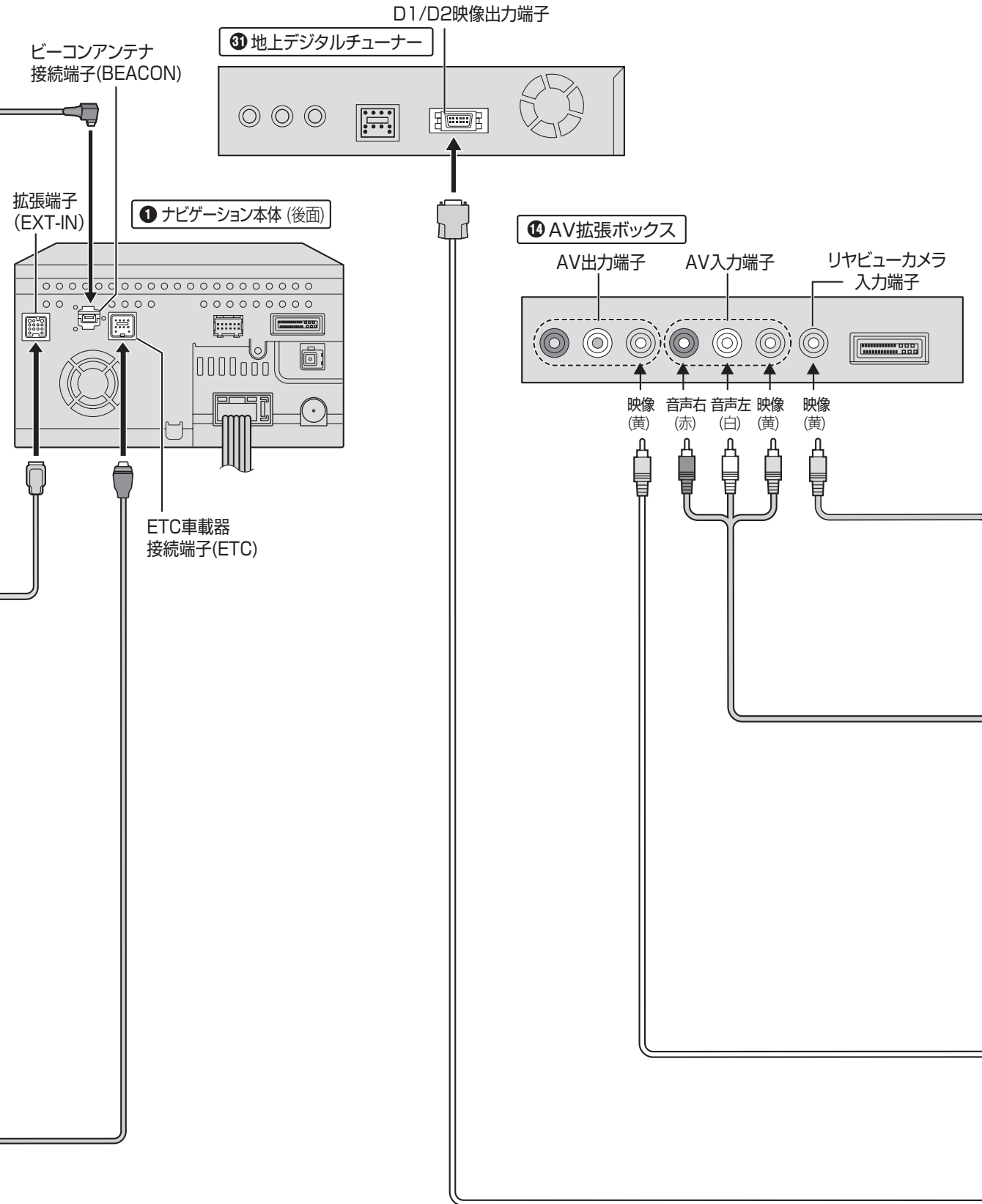
料金所で ETC 拡大図を表示したり、料金履歴を確認できます。

- 別売の ETC 車載器 (CY-ET906D/CY-ET906KD/CY-ET806D) のほかに、ETC 車載器接続コード (CA-EC31D) が別途必要です。

別売 ETC車載器(CY-ET906D)



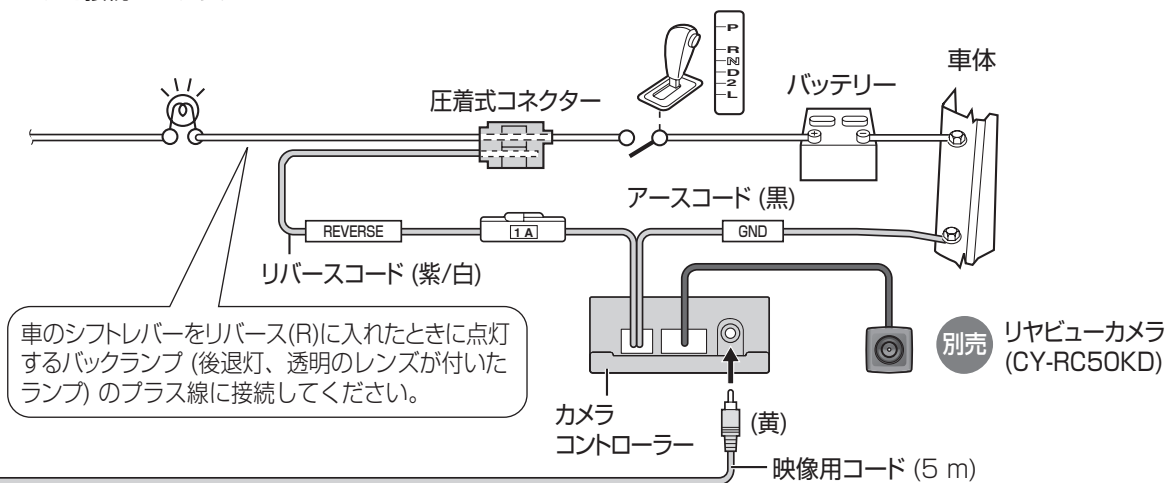
別売 ETC・ナビ接続コード (CA-EC31D)



別売 リヤビューカメラ

品番：CY-RC50KD (例)

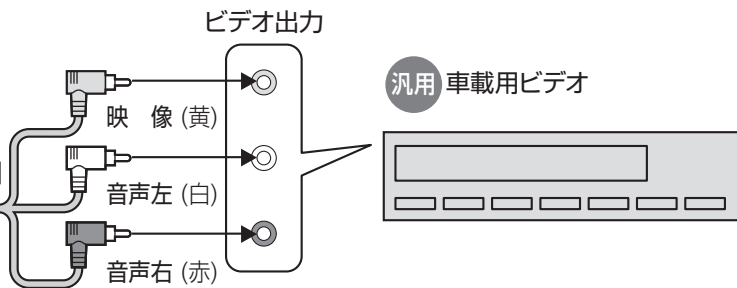
リヤビューカメラを接続できます。



汎用 車載用ビデオ

車載用ビデオを接続できます。

別売 AV接続コード(映像/ステレオ音声)
[L-RAV30DR(3 m)/L-RAV60DR(6 m)]



別売 2台目のモニター

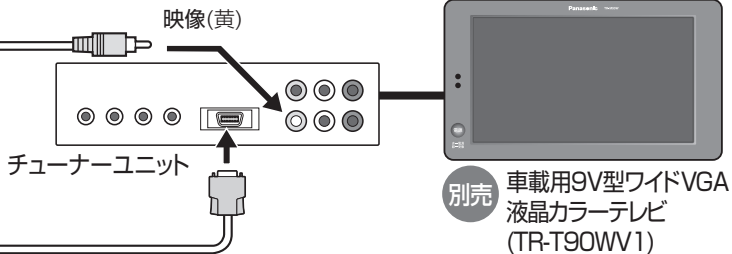
品番：TR-T90WV1 (例)

2台目のモニターに本機の映像を表示できます。

- デジタルチューナーを接続する場合は、組み合わせるモニターによって接続のしかたが異なります。

汎用 RCAコード (映像)

別売 D端子ケーブル
(RP-CVDG15A/30A)



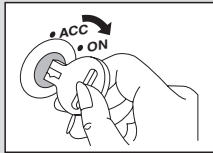
別売 車載用9V型ワイドVGA
液晶カラーテレビ
(TR-T90WV1)

取り付け・配線の確認

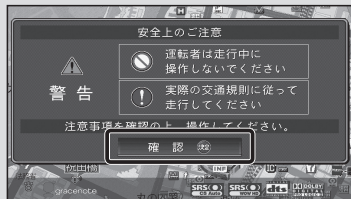
下記の手順で取り付け・配線を確認してください。

① 電源を入れる

- 車のエンジンをかける。
または ACC に入れる。
● ナビゲーション本体の電源が入ります。



- 注意事項を確認して、**確認**にタッチする。



- オープニング画面表示後、警告画面が表示されます。
- オープニング画面表示中は、車を発進させないでください。システムを起動する準備をしています。

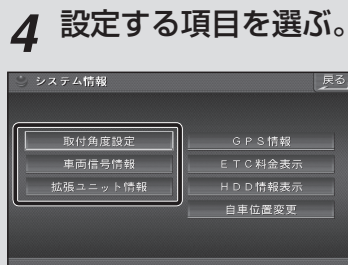
- 見通しの良い場所で、GPS 信号 (GPS) を受信していることを確認する。



- GPS マークが表示されないときや点滅が継続するときは、受信状態をご確認ください。
(取扱説明書「ナビ編」)

② 取付角度設定・車両信号情報・拡張ユニット情報の確認をする

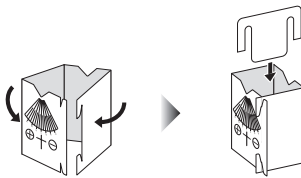
- MENU** を押す。
● トップメニューが表示されます。
- 情報/設定** にタッチする。
- 情報** → **システム情報** にタッチする。



→ 取付角度設定 / 車両信号情報 / 拡張ユニット情報
それぞれの手順 5 へ (右記)

■ 取付角度を測る

- 取付ゲージを組み立てる。



お願い

- 取付ゲージを折ったり曲げたりしないでください。
正確な角度が測れなくなります。

取付角度設定

- 取り付け角度を設定し、**決定**にタッチする。



- 調整範囲：0° ~ +30°
(5° ステップ)

お願い

- サラス (SALAS) 取扱説明書「ナビ編」223 ページによる、立体駐車場などでの自車位置測位の精度を向上させるため、必ず設定してください。
(お買い上げ時は、「未設定」となっています。)

車両信号情報

- 車両信号情報を確認する。



- ① 「リバース」「サイドブレーキ」「スモールランプ」「GPS アンテナ」「AV 拡張ボックス」「スピード」「ACC 電圧」を確認する。
- ② **パルスリセット** にタッチして、「車速パルス」をリセットする。
同じように、「学習レベル」「ジャイロ角度補正」「3D センサー補正」もリセットする。
- ③ 現在地画面を表示させ、平均時速 20 km 以上で見通しの良い場所をしばらく (60 分程度) 走行したあと、「車速パルス」「学習レベル」「ジャイロ角度補正」「3D センサー補正」を確認する。

リバース	シフトレバーを R (リバース) に入れると、ON 表示に変わりますか？
サイドブレーキ	サイドブレーキを引くと、ON 表示に変わりますか？
スモールランプ	車のスモールランプが点灯すると、ON 表示に変わりますか？
GPS アンテナ	ON 表示になっていますか？
AV 拡張ボックス	ON 表示になっていますか？

スピード	自車の速度を表示します。
ACC 電圧	約 12V (11 ~ 16V) になっていますか？

車速パルス*	リセットすると「0」になります。走行後、数字が変化していますか？
学習レベル	リセットすると「レベル 1」になります。走行後、数字が変化していますか？ (レベル 3 が最大)
ジャイロ角度補正	リセットすると「未補正」になります。走行後、「補正完」になっていますか？
3D センサー補正	リセットすると「未補正」になります。走行後、「補正完」になっていますか？

*車から出力される車速パルスに一定の係数 (車速補正係数) をかけて距離を算出し、より正確な自車位置を地図画面上に表示させることができます。
(全自動距離補正システム)

拡張ユニット情報

- 拡張ユニット情報を確認する。



SD メモリーカード	別売の SD メモリーカードを挿入すると、ON 表示に変わりますか？
ビーコンユニット	別売の VICS ビーコンユニット (CY-TBX55D) を接続している場合、ON 表示になっていますか？
ETC ユニット	別売の ETC 車載器 (CY-ET906D/KD, CY-ET806D など) を接続している場合、ON 表示になっていますか？
デジタルチューナー	付属の地上デジタルチューナーを接続している場合、ON 表示になっていますか？
iPod	市販の iPod® を接続している場合、ON 表示になっていますか？

お知らせ

- 次の場合にも「車速パルス」「学習レベル」「ジャイロ角度補正」「3D センサー補正」をリセットしてください。
・別の車に本機を載せかえた
・違うタイヤに交換した
・タイヤをローテーションした
- 車種によっては、スピードをあげると自車マークが動かなくなることがありますが、補正処理を行っている間は故障ではありません。
- 市街地などで渋滞・停車を頻繁に繰り返すコースや右左折が多いコース、また GPS 信号を受信しにくいコースでは補正処理に時間がかかり、学習内容に誤差が出ることがあります。

以上で取り付け・配線の確認は終了です。

不完全な項目があるときは、正しく取り付け・配線されていない可能性があります。
再度取り付け・配線を確認してください。